

平成26年度 事業計画書

ケアハウス大慈

1. 《平成26年度法人ヴィジョン》

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. 《ケア理念》

「手から手へ 忠恕（真心）を込めて」

3. 《基本方針》

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、ゲストの人権を尊重し、ご自分らしく心豊かに生活を送っていただけることを目指し努力する。いつでも笑顔を絶やさず、思いやり・真心をこめて接することでゲストとの心のつながりを大切にする。ゲストが安全で健康的な暮らしができるようサポートする。

4. 《最終目標》

～いきいきのびのびスマイリー運動～

●みんなが生き生き・みんなが伸び伸び・みんなが笑顔。

(みんなとは、ゲスト・ご家族・職員を指します。)

- ・生きがい・やりがいを大切にします。
- ・自分らしさを大切にします。
- ・笑顔溢れる温かい雰囲気大切にします。
- ・みんながしあわせになることを目指します。

5. 《中期計画》

- ①ケアハウス大慈の理念や方向性を周知する。
- ②ケアハウス大慈「らしさ」を共有し、みんなで作り上げていくという風土を作る。
- ③スタッフが福祉職ということやケアハウス大慈に勤めていることに誇りを持てる様にする。

6. 《部門別重点目標》

【大慈らしさの追求】～考える～

<ケア部門>

だいたいなスタッフの育成

① 考える介護の実施

A) 考える介護への環境整備

- ・マニュアルの見直しを実施（簡素化し実用性のあるものにする）
- ・マニュアルでは網羅できないゲスト一人一人のサポートにおいて統一方法を検討
- ・記録に基づいてサポートの検討ができるよう介護記録の取り方を見直す

B) 考える介護へのスタッフ育成

- ・アセスメント力の向上を目的にアセスメントシートを作成し活用
- ・その人の思いや色を反映し、人物像が浮かぶライフプランの作成

- ・事故報告書を基に各フロアで対策の検討を実施
 - ・内部、外部研修を活用
 - ・ご家族への対応、より良い関係作りの構築
 - ・指導者が適格に指導できるよう体制作りを行い、スタッフ一人一人の個性を把握する
- ② サービス向上
- A) サービス向上委員会の立ち上げ
- ・苦情・相談の内容から課題を抽出し、サービスの向上を図る
- B) マナー向上
- ・マナー向上の為、始業時、終業時のチェックシートを作成し活用する
- C) 介護技術向上
- ・介護技術勉強会（知識の取得・介護技術の取得・想像力の取得）の開催
- D) 居住環境整備(環境チェック)
- ・対象者を選定し研修を実施することで、統一基準にてチェックを実施
- ※①②実施した項目において改善状況を随時確認していく

<経営部門>

- ①在園率95%以上、在籍率97%を維持する
- A) ゲストの体調管理を行えるよう、他部署と連携する
- B) 入院時は、スムーズに退院となるよう病院と連携し情報の交換を行う（2W/1回）
- ②待機者の確保に努める（10名）
- A) 見学者の増加
- ・常時見学の受け入れ体制を作っておく
 - ・ホームページを定期的に更新する
- B) 見学者から待機者へ
- ・見学者、相談者に対し定期的にお困りでないか連絡を入れる
 - ・アピールポイントを探し、宣伝方法の検討をしていく
 - ・ケアハウス便りを発行し（2M/1回）事業所に配布する
 - ・地域との交流の場所に参加する(年2回)

<栄養科>

自分だったらと考えられる厨房になる

- A) おいしく、笑顔になれる食事の提供
- ・食材をきざむ事なく、常食・ソフト食・スルー食・ミキサー食（ゼリー食）すべての方が、何を食べているのかわかり、食べたいと思える食事の提供を継続する
 - ・細かいゲストの要望に応えられるように、一人一人の好みを把握する
 - ・厨房の業務を見直し時間を作ることで、副菜のニーズに応える
- B) 食事や食事行事について、チェリッシュ委員会や担当者会議にて、スタッフ同士の意見交換がスムーズに行えることで美味しい食事の提供を行う
- ・ゲストの満足度を調査し（年2回）、おいしい又は満足と答えて下さる方を全体の75%以上を目標とする
- C) 栄養面を考えた食事の提供とサポート方法の提案
- ・食事のサポート方法や嚥下について研修会等に参加して学び、個々のゲストに合ったサポート方法を介護スタッフへ提案する
 - ・よりスムーズに安心・安全に喉を通り、必要な栄養量を確保できる食事を提供する

<看護部>

①口腔ケアの大切さを伝えていく

- A) 食事の楽しさ・喜びの場所を作り、できる限り口から摂取し、肺炎を予防する
- ・口腔ケアの研修を行う（基本ケア・発語・発声練習、嚥下体操など）
 - ・歯科や他職種と連携しチームでケアを行う

②その人らしい生活を全スタッフと共に作る

- A) ゲストが望んでいることを把握し、不安が軽減できる看護をみつける
- ・関係職種との連携を強化する（カンファレンスにて情報交換を密に行う）
 - ・日頃からフロアとの関係づくりに努める（フロア会議参加など）
 - ・ゲストの希望を聴き取り医務で共有、必要であれば、他部署と情報交換を行う

B) ご家族と信頼関係を築く

- ・来園時には、声をかけ日ごろの様子や現状を伝える
- ・ご家族が不安に思うことを把握していく
- ・ケアカンファレンスに参加し他職種と連携する

[年間業務]

月	項目	内容
5月	ゲスト定期検診	胸部X線・採血
6月・7月	スタッフ定期検診（全職員）	胸部X線・採血・検尿・検便・身長・体重・聴力・視力心電図、腰椎X線（CWのみ）
10月・11月	ゲスト・全スタッフ	インフルエンザ予防接種
1月	職員定期検診（CWのみ）	採血・腰椎X線・検尿・聴力

[往診・受診]

曜日	午前・午後	医師名	診療科目	頻度
月	午前	坪内淳一	内科	毎週
	午後	平山尚哉	歯科	毎週
火	午前	坪内淳一	内科	毎週
	午後	松尾信二	精神科	毎週
水	午前	真継 猛	整形外科	毎週
	午後	松浦 肇	皮膚科	隔週
木	午前	坪内淳一	内科	毎週
金	午前	坪内淳一	内科	毎週
土	午前	坪内淳一	内科	毎週

※眼科・耳鼻科等は、外部へ随時受診

※外部主治医往診可能

<機能回復訓練>

①ケアの質向上

- A) 移乗・移動サポートは個別性を理解し、「持ち上げない・抱えないサポート」を土台として、ゲスト・スタッフ双方にとり、やさしいサポートとなるよう調整する
- ・現場に足を運び、移乗や移動方法の確認を行い書面でも残していく

②機能訓練の提供体制を充実

- A) スタッフ増員の為、機能訓練加算の15パーセントアップ
- B) サポート方法・福祉用具の使用確認・生活環境での調整を現場と行っていく
- ・フロア会議に参加
 - ・各委員会で報告・確認を行う

7. 《ケアハウス大慈の特徴》

○入浴

一般浴（大浴場・個浴）・特浴・中間浴をゲストの状態や好みによって、選択出来ます。入浴回数や時間についても、出来る限り希望に添えるようにする。（週2回以上）

○排泄

個々の状態にあわせた排泄サポートを検討し、出来るだけトイレを使用し自立支援を目指している。

○食事

リビングで食べて頂く事を基本とし、個々の状態に応じて治療食、ソフト食やスルー食等を提供する。ご自身のお箸やお茶碗、お湯呑みを使って頂くことやフロアのキッチンでご飯を炊くことで家庭に近い雰囲気を感じて頂ける様にしている。

温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べて頂くためにおかずの盛り付けもフロアのキッチンで行っている。陶器の食器を使用し、味だけではなく見た目も大切にしている。

○生きがい作り

お誕生日のお祝いには、プレゼントを用意し、職員と外出する機会を持つ等、個々の希望に合わせて行っている。

畑と一緒に収穫した野菜を、レストランやバイキングでの行事食で提供している。

にぎり寿司パーティーや焼き肉パーティーを年に1回ずつ行っている。

気候の良い時期には、外出行事を企画する。

ミュージックセラピー・フラワーセラピー・リハビリ体操を実施している。

お祭りにご家族も招待し、一緒に楽しんでいただいている。

○その他

レストランや美容室の設備が充実している。

生きがいデイサービスの場として、地域の方にレストランを提供している。

職員配置は、ゲスト2名に対して職員1名とし、ユニットケアを行っている。

8. 《職員会議》

頻度	会議名			
毎月1回	正副施設長会議	大慈な会議	事務部会	会計会議
随時	ケアカンファレンス			

9. 《衛生》

害虫駆除（年2回）・寝具交換（週1回）。

10. 《苦情処理》

各部署に担当者を明記し、随時受け付け口頭・書面で上司に報告し敏速な対応を行う。

11. 《職員配置》

施設長	副施設長	生活相談員	介護支援 専門員	看護職員	看護職員 (パート)
1名	1名	1名	3名	3名	1名
管理栄養士	事務員 (パート)	介護職員 (正職)	介護職員 (パート)	機能回復 訓練士	その他 (運転手)
3名	2(1)名	34名	29名	2名	1名

1 2. 《委員会活動》人事・事業戦略・労働衛生・予算委員会については、大慈園と同じ

内 容	
委員会名	チェリッシュ委員会
頻度・時間等	毎月第二月曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	ケアハウス大慈の食事をより良いものにするを目的とし、料理教室やスナック等の行事を企画する。

内 容	
委員会名	行事委員会
頻度・時間等	偶数月第二水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	行事を企画、実行していく。大慈園行事委員会にも必要に応じて参加し、連携を図る。

内 容	
委員会名	CCP委員会（ケアハウスコミュニケーション推進委員会）
頻度・時間等	奇数月第三木曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	ケアハウス大慈独自のコミュニケーション方法（バリデーショ要素を取り入れた）を使いゲストのメンタル面でのケア方法を検討し実施する。

内 容	
委員会名	災害・設備委員会
頻度・時間等	偶数月第一又は第二水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	非常災害時に対する防災意識の向上や警戒発令時の迅速な対応等、総合的な推進を図り、被害を軽減する。また委員が、大慈園の非常災害時対策委員会にも参加し災害に対して連携が図れるようにする。 施設設備の保守に関する問題点や改善案を話し合い、実施する。 A) 避難訓練消火訓練の実施（月1回） B) 消火器、自動火災通報装置の使用法等、防災教育の実施

内 容	
委員会名	感染症防止対策委員会
頻度・時間等	毎月第一月曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	感染症・食中毒の予防まん延防止に関する指針に基づき、マニュアルの作成や見直し・標準予防策・職員研修等を検討・実施する。

内 容	
委員会名	RM委員会
頻度・時間等	毎月第二木曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	事故報告書の検討・ドキドキ報告書を基に再発防止の対応を検討し、実施する。また定期的にマニュアルの見直しを行う。

	内 容
委員会名	マナーアップ委員会
頻度・時間等	毎月最終木曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	職員のマナー向上を目的としており、その為実践する方法を提案する。

	内 容
委員会名	エコ・節約委員会
頻度・時間等	不定期 16時15分～17時45分
目的・内容	節電・節水を実施し、エコロジーな施設を目指すと共に無駄を無くし、節約に取り組む。

	内 容
委員会名	入浴委員会
頻度・時間等	不定期 16時15分～17時45分
目的・内容	入浴のスケジュールや清掃、サポート等の入浴に関する全ての事を話し合い、より良い入浴を目指す。

	内 容
委員会名	排泄委員会
頻度・時間等	不定期 16時15分～17時45分
目的・内容	排泄について話し合いゲストが心地よく過ごせるための改善方法を提案・実施していく。

13. 《月間行事》

行事	頻度	行事	頻度
音楽療法	毎月2回	衣料販売	隔月1回
大正琴	隔月1回	絵手紙	毎月1回
シルバー体操	毎週水曜日	フラワーセラピー	毎月1回
買い物ツアー	毎週木曜日	歌とお話の会	毎月1回

14. 《年間行事》

月	行事	月	行事
4月	お花見、ティータイム	10月	遠足、ティータイム、スナックちいちゃん、屋台風
5月	外食ツアー、母の日、子供の日	11月	外食ツアー
6月	外出行事、父の日、ティータイム、スナックちいちゃん	12月	クリスマス会、餅つき、ティータイム
7月	七夕、オープン記念	1月	おせち、新年会、七草粥、鏡開き、
8月	お祭り、ティータイム	2月	節分、バレンタインデー、ティータイム、スナックちいちゃん
9月	敬老の日、焼き芋	3月	雛祭り、にぎり寿司